



作業小屋完成!

夏に向けてプログラムの幅が広がる作業小屋が完成しました! 作業室の広さは64.8㎡。教室程度の広さです。クラフトを行う、レクチャーを行う、少し雨宿り...など使用法は工夫次第。

那須平成の森が主催するプログラムだけでなく、那須平成の森の自然にふれあうことを目的とした自然体験などを行う団体も利用することができます。



■作業小屋外観



■クラフト実習中

この作業小屋を活用し、さらにバリエーション豊かで楽しい自然体験を行うことを通して、皆さんに森やいきものについて、不思議さやおもしろさなどを感じていただけたら嬉しいです。作業小屋使用ご希望の場合は、那須平成の森フィールドセンターまでお問い合わせ下さい。



5月・6月・7月 こんなことがありました!

- ☆5月
 - ・那須平成の森開園一周年!!
 - ・那須高原ビジターセンターにて、写真展「那須の自然はともだち」開催(～6/3)
- ☆6月
 - ・那須高原ビジターセンター館内に那須町立図書館の出張図書コーナーを設置
- ☆7月
 - ・夏展示「生きものいっぱい那須平成の森」開催中!
 - ・モニタリングプログラム「那須平成の森の水辺林を調べよう」実施

8月・9月・10月 こんなことを予定しています!

- ☆8月
 - ・8月5日(日) 森林管理プログラム「水をめぐる冒険」
 - ・8月12日(日)&20日(月) ガイドウォーク特別編「森の中のふしぎ」
- ☆9月
 - ・9月23日(日) 森林管理プログラム「那須平成の森に広場を作ろう」
 - ・9月9日(日)&20日(木) ガイドウォーク特別編「夏の終わりの森さんぽ」
- ☆10月
 - ・10月 昨年は中旬頃から紅葉がはじまりました
 - ・10月14日(日)&22日(月) ガイドウォーク特別編「秋に染まる森を歩く」
 - ・10月20日(土) 「紅葉の那須平成の森 音の風景 ～チェンバロ演奏会 with 自然体験」

※詳細はフィールドセンターにお問い合わせ下さい



「生きものいっぱい 那須平成の森」夏展示開催中!

標高600m～1400mに育つ二次林の樹木たち

クイズに正解してお土産をゲットしよう!



(※) クイズに参加できるのは、個人でお越しの方で、中学生以下の方に限らせていただきます。その他、クイズ参加にあたり規定に沿っていただきますのでご了承ください。
(※) お土産は数に限りがあります。なくなり次第内容を変更させていただきます。

facebookからひとこま

那須平成の森 facebook でご覧いただけます
<http://www.facebook.com/nasuheiseinomori>

【金環日食】

◆今日の金環日食、日本の人口の3分の2が観察できるということで、眠たい目をこすりながら見た方も多いのではないのでしょうか。私もその一人で、朝7:00前から那須平成の森に来て932年ぶり(広域で見られるのは)の天体ショーをわくわくしながら待っていました。7:30が過ぎた頃、森の影を見ていると...どんどん形が変わって輪っかがいっぱい出てきました。この様子を見て、隣りで見ていたスタッフが「うろこみたい」と言っていました。確かに、森の中に大きな魚が通ったみたいでした。みなさんはどんな風に見えましたか?(ミギー)



【今年もやってきました】

◆7月11日、ヒラキング(スタッフ)が誇らしげな顔をして外から戻ってきました。どうしたのかと冷めた目で見てみると、手にはミヤマクワガタが。おお!! 那須平成の森では今期初確認。しかもかなり大きな個体でした。表面には金色の毛も生えていて、貫録十分です。いや～夏です。クワガタをみると、虫捕りが一日の中心だった小学生時代の夏休みを思い出します。那須平成の森で大人の夏休み、いかがですか?(遊)

※「那須平成の森」は日光国立公園第二種特別地域に指定されている。自然を保全しながら利用していく場所です。動植物のお持ち帰りはできません。観察して楽しみましょう!



【モニタリングプログラム実施しました】

◆7月22日、今年に入って1回目のモニタリングプログラムを実施しました。「那須平成の森の水辺林を調べよう!」をテーマに、沢周辺の樹木から水質、水生生物と調査尽くしの1日でした。普段、何げなく見ている環境でも、改めて調べてみると「へえ～こんなものいるんだ」という発見がいくつもあり、担当した自分が一番楽しんでしまったかもしれません。○オニヤンマのヤゴが羽化しているところと、陸に上がってくるオニヤンマのヤゴが見られました。○生まれて間もないと思われるヤゴが、小さくてとてもかわいらしかったです。○水生生物を探していたら、ゼラチンのようなタマゴ? みつかりました。と、僕は水生生物のことしか書いていませんが、他の参加者たちは木のこと、水のこと、環境のこと等多くの発見をしてくれたみたいです。(ミギー)



「森の自然を紹介します!!」

やまみや きみこ
山宮 喜美子
(やまちゃん)



◆これからの季節、那須平成の森はたくさんの菌類でにぎわいます。中でも人気者は「タマゴタケ」というキノコで、地上の白い卵の殻を突き破って真っ赤な傘が開きます。他にも立ち枯れたブナの木に発生する発光キノコ「ツキヨタケ」も多く見かけられます。キノコムシやキノコバエなどキノコを食べる昆虫たちの季節でもあります。



那須平成の森スタッフおすすめ情報

「おすすめ本!!」

世界を、こんなふうに見てごらん
(日高敏隆 2010発行 集英社)

みぎた ゆうき
右田 裕基
(ミギー)



◆僕が紹介するのは、動物行動学の先駆者である日高敏隆さんのエッセイ集です。この本には「何だろう?」と疑問に持つことの大切さ、「何でも思い込むな」という常識から外れる考え方、「いろんな生き方があっていい」という多様であることの必要性、さらに私たちがそれぞれ持つ色眼鏡(作中ではイリュージョンと呼んでいる)を持つことや、時には変えることで世界観が広がっていくことの楽しさを、動物というフィルターを通してやさしく語りかけてくれます。